

# 能楽「和布刈」舞う



市民らに披露された能楽

## 門司 伝統通じ質の高い教育へ

北九州市門司区の門司市民会館で20日、地元の神社の神事にちなんだ演目「和布刈」などの能楽公演が行われた。

北九州商工会議所のメンバーらで作る「『能楽』で地域活性実行委員会」が主催。同区の和布刈神社が旧暦の元日未明に海辺で行うワカメ刈りの神事を題材にした演目「和布刈」が披露されると、市民ら約600人が見入った。

同委員会は、伝統芸能の継承を

通じたSDGs（持続可能な開発目標）の推進を目標に掲げており、質の高い教育を実現するため、今後、地元の子どもらによる能楽の稽古を行う。今年冬頃を目標に発表会を開き、観光客にも鑑賞してもらおう。

同委員会の上田哲則事務局長は「子どもたちが地元で貴重な（能楽という）財産があることを再認識し、古里に誇りを持てるような活動にしたい」と話していた。



つづく  
未来へ  
SDGs